

年金で入所できる

介護施設の建設を

答 建設すると介護保険料が大幅に値上がりする



内山 慎一 議員

町民が年金で入所できる介護施設の建設と誘致する考えはあるか。

町長 介護施設への順番待ちの人数は、平成28年4月に59名。平成29年4月は39名と減っている。

介護施設を建設すると介護保険料が大幅に値上がりする。来年は介護保険事業計画の提出年になっている。建設を示す指針がでるとは考えていない。

医療費削減への取り組み

問 成人病予防、医療費削減への取り組みは。
町長 生活習慣病の予防

地域資源を活かした観光地づくり

問 地域資源をどのように観光面に活かしているか。

町長 観光客アンケートでは、温泉や自然が上位に入り伝統文化の伝承などは下位である。雖のつるし飾りは活かしきれない。自然では細野高原の良さが見直されてきた。

問 海や山・田畑が荒廃したら観光地としては衰退の一途である。

海では素朴な稲取港や北川港の風景や風情・漁師の営みがある。神々し

さをおぼえるはさみ石の付近の開発。築城石、石丁場などの開設。山ではみかんの花咲く石垣のよさのPR。細野高原の更なる活用や、全国どこでも行っていない石曳きまつりの大々的な復活などもおもしろい。ぜひ関係団体への働きかけをし、観光客の減少の一助に考えてほしい。

町長 はさみ石は有志のみなさんが散歩道を考えている。開発までは費用の点で考えていない。港の風情は素晴らしい。町では周辺の街路灯整備などを行う。また、金目鯛や水草などの特産品開発にも力を入れ、観光面での活用を関係団体にお願



アスド会館を活用しては

介護施設の整備

問 介護制度のハード面（施設等）、ソフト面での対策と支援は。

町長 在宅系サービスで6種32事業所、施設系で5種7事業所ある。法律に基づき居宅・地域密着型のサービス、施設の入所者への介護給付などを行っている。

問 町の遊休地やアスド会館などを無償譲渡し、

人口減少下における町の施策は

答 身の丈に合った財政運営を



村木 脩 議員

人口現減少下における町の施策について

問 人口減少のなかで行政の多様化にいかに対応するか。

町長 人口減少を前提とした町政運営を最重要課題の一つと捉えている。財政規模を縮小し支出の抑制が必要。今後はソフト面に対応し、施設整備についても、遊休施設の活用を図り、民間活力の導入などコンパクトな行

政運営の能力が求められる。身の丈に合った財政運営を心がけている。
問 人口減少は産業にも影響してくると思うが対策は考えているか。

町長 町民の購買量の減少による経済の衰退がある。交流人口を増加させることにより町内事業所の売り上げ増加を図りたい。
また、もう一つは企業の人手不足の問題。ある宿泊施設では予約は入ってきているが、スタッフが足りず断っている場合

教育環境の充実について

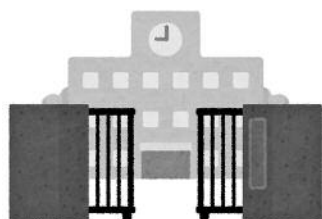
問 異常気象のなか、学校の冷暖房を考えているか。

町長 特殊教室は入っているが、普通教室は入っていない。学校や幼稚園の普通教室を考えていく必要がある。学校の再編整備と施設の老朽化対策と共に検討していきたい。

問 生徒数の少ない中で小中学校の統合も将来的に考えているか。

町長 平成27・28年度の

2カ年にわたり、町の学校教育環境整備委員会において本年3月に最終答申が出され、現状と今後10年の見通し、更にその先10年の見直し、将来要望についても検討された。「学校教育は一定の人数が確保された環境で、子供達の関わり合いを重視することが大切である。また未来を見据え、より地域と一体なった教育を目指す」とある。中学校を統合し、幼・小は現状を維持する。または、両地区に小中一貫校を整備する。この答申に基づき、総合教育会議にて協議を行っている。



町HPで公開されている「公共施設等総合管理計画」によると、今後40年間で約99.7億円の財源不足が見込まれている